

# まなづる

No.42



## 私の好きな場所 「真鶴港」…下釈迦堂より

港に続く細い階段と路地が、家々の隙間を迷路のように続いています。

ときにびっくりするような素敵な眺めを楽しめます。

## 12月定例会報告

次世代に引き継ぐため自治基本条例の

検討はじまる ..... 2～3 P

審議結果 ..... 3 P

一般質問 ..... 4～7 P

新人議員含め、8名が壇上に立つ

トピック ..... 8 P

発行/真鶴町議会 編集/議会広報特別委員会

# 12月定例会

**12月12日～12月13日  
定例会開催**

12月定例会は、12月12日から13日まで開催した。条例案、条例の改正、補正予算、町道路線の廃止および意見書について審議した。

が前提となっているために、町長より同時に撤回の申し出があった。

**撤回許可**

**真鶴町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について**

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の改正に伴い、条例を改正した。

**全員賛成**

**町道路線の廃止について**

旧保健センターの横の町道は、一般交通に必要なくなったため廃止することになった。

**全員賛成**

**平成25年度真鶴町一般会計補正予算(第5号)について**

歳入歳出に4724万6千円を追加し、総額を29億7869万円とした。

**全員賛成**

村田 100万円の寄付

はどういうものなのか？目的があるのか？企画調整課長 町外の個人から、町づくりに役立ててほしいとの指定寄附があった。

**撤回許可**

岩本 町有林管理の委託事業の内容は？産業観光課長 県の交付金で、水源林の植林と下草刈りをした。

岩本 (仮) 真鶴産業活性化センター(旧梅原水産)の耐震診断で補正予算は必要か？耐震補強はだれが負担？産業観光課長 耐震の経費は、早い段階でどのくらいの経費が必要かを検討したい。施設は町が買収を予定している。県に補助金の申請をしていく。

**全員賛成**

**平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)について**

歳入歳出に4594万5千円を追加し、総額を

**全員賛成**

5千円を追加し、総額を

13億4232万8千円とした。

**全員賛成**

黒岩 広域化等支援基金3000万円の貸し付けの返済は必要か？利息は？町民生活課長 歳入が歳出を下回るときに借入。翌々年度以降に5分の1ずつ返済。無利息。

特別会計(施設勘定)補正予算(第3号)について

**全員賛成**

歳入歳出に126万4千円を減額し、総額を1億5801万9千円とした。

**全員賛成**

村田 歳入の補正額が1000万以上減額になっているのは指定管理になったから？町民生活課長 町が経営していた時の4月1日から7月31日までの診療収入が予算よりも少なかったから。

下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

**全員賛成**

歳入歳出に481万5千円を減額し、総額を2億588万9千円とした。

平成25年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

**全員賛成**

歳入歳出に995万2千円を減額し、総額を7億2029万5千円とした。

**全員賛成**

水道事業会計補正予算(第1号)

真鶴町町立診療所問題に関する百条委員会の設置を求める陳情書

**全員賛成**

平成24年度に真鶴町立診療所の医師の派遣にかかわる問題で疑惑が発生した。これは派遣資格のない医師が医師派遣を行ったこと、医師への給料払込先が第三者だったこと、要望書のサインが偽造されたことなどである。

このことよって、真鶴町は小田原労働基準監督署より行政処分を受けた。

平成25年3月12日付けで町民団体より疑惑解明のための陳情書が提出された。

総務民生常任委員会で継続審査になったものの、審議未了となった。

再度、同団体からの百条委員会の設置を求める陳情の提出があった。

採決の結果、総務民生常任委員会へ付託となった。

た。

# 次世代に引き継ぐため、自治基本条例

**真鶴町住民投票条例の制定について**  
本条例は自治基本条例

村田 100万円の寄付

5千円を追加し、総額を

入が予算よりも少なかったから。

水道事業会計補正

た。

質疑応答

# 検討はじまる

 国民健康保険の早期に広域化を求める意見書

現在、市町村ごとに行っている国民健康保険事業では、自治体ごとに負担額が異なり地域格差が広がっている。財政規模の小さな町では一般会計から繰り入れることは困難である。議員提案によって意見書を提出する。

1、国民健康保険を早期に国もしくは都道府県単位の広域化を求める。

2、移管まで国庫負担率を引き上げる措置を行うこと。

**反対討論**

現在は住民の声が議会や国保運営協議会で反映されている。真鶴では実施されていないが、国保税を引き下げるための一般会計からの法定外繰入など、これらの自治体独自の取り組みが出来なくなる。

**賛成多数**

**賛成討論**

町は法定外繰入の財源がない。国保事業特別会計(事業勘定)補正予算で県の広域化等支援基金の交付を受ける形で運営されている以上、反対する理由がない。

議会を傍聴してみませんか  
次の議会は定例会  
3月4日(火)~18日(火)  
予定です。



真鶴地域情報センターでもし  
議会中継を  
させていただきます。

**訂正**

前号(No.41)の10ページ  
の委員会構成表で、総務民生常任委員会の委員に「青木繁」とありますが、正しくは「青木厳」です。

前号(No.41)の14ページの特集「真鶴町国保診療所はこう変わります」で、「診療所での健康診断は現在行っていない」とありますが、「現在診療所では健康診断を行っておりです。」お詫びして訂正をさせていただきます。

平成25年 12月定例会 審議結果 会期(2013年12月12日)

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木繁	村田知章	青木厳	二見和幸
議案第56号	真鶴町自治基本条例の制定について				撤回許可											
議案第57号	真鶴町住民投票条例の制定について				撤回許可											
議案第58号	真鶴町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	町道路線の廃止について(真第614号線)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成25年度真鶴町一般会計補正予算(第5号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	平成25年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第3号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	平成25年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	平成25年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	平成25年度真鶴町水道事業会計補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	国民健康保険の早期に広域化を求める意見書	10	8	2	採	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥  
議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択



### 村田 知章 議員

経営目標値を明確に！

「経営における目標値の設定について」

**Q** 町の経営する事業にも目標値が必要だと考える。

**A** 大幅な赤字や利用者の少ない事業の撤退の目安も定めておくべきでは？

例えば、パークゴルフ場は一日平均150人の利用者が見込める説明だったが、現在は？

**A** 一日平均100人で計画し、現在約50人の利用者で増加傾向、目標は100人だが、人件費全額と管理運営費の一部をまかなえることが目標である。用途変更は考えていない。

**Q** 50%の目標達成率では低いのではないか。損益分岐点などの経営的

な目標は？

**A** 人件費はまかなえている。

**Q** 湯河原町でもパークゴルフが始まるが？

**A** 真鶴のパークゴルフを続けるかは、利用状況をみさだめて決める。

**Q** 町営レストラン真鶴魚座とケーブル真鶴は？

**A** 指定管理者への委託を考えている。

**Q** 新しい事業には、目標値を定めるべきでは？

**A** 目標値をさだめる。津波の逃げ道は階段で！

「急傾斜に津波避難階段の設置について」

**Q** 地震の5分後に津波の第一波が到達する可能性がある。高台にいち早く避難するために急傾斜地への避難階段の設置は？三浦市では県の急傾斜崩壊対策事業として設置された。



三浦市の津波避難階段

**A** 平成23年11月に県と現地調査して設置不適とされたが、三浦市の実施例が出来たので、今後県に対して設置の要望をする。

**Q** 避難タワーは、真鶴町の地形に適しているとは思えない。見直しは？

**A** 県に対して2か所の要望をしている。慎重に検討したい。

**Q** 動力に代わる動物の導入について

**A** ヤギによる除草は？他市町でも行っている。

**A** 真鶴の地形上の制約があり飼育の手間など現実的ではない。

**Q** お林の倒木処理で重機を用いると森へのダメージが大きい。代替案として「馬搬」という馬による搬出方法がある。

**A** 伐倒施工の単価が上がる。馬にも危険であるから、これまで通り重機を用いた方法が最適で効率的であると考える。

## 一般質問



### 光吉 孝浩 議員

景気増進計画の状況は？

「観光収入増進計画の進捗状況について」

**Q** 開始時期から現在までは延びてきているのか？

**A** 消費額の増進を図ることを目的とし、有償観光施設や観光イベントの売上額、商店街活性化における町内店舗売上高等、景気増進を実感できる直接指標を採用し、駅や観光施設来場者数や各産業の生産量を間接指標として、複合的に検証していくことにした。今後、町内関係団体・個人店舗に協力を求め、データを収集し、今年度中に最初の検証をする。6月に景気増進計画を実現するための政策企画会議を、

10月に実働部隊である活性化プロジェクトを立ち上げた。政策企画会議のメンバーのアドバイスを受けながら、現在目標を設定し事業の検討をしているところ。町から目標を提示するものではなく各チームの自由な発想で進めている。チームの目標は政策企画会議に示しており、方向のずれがないよう進めている。

**Q** パークゴルフを中心とした新しい試みを、景観を活かした新しい試みを始めることはできないか。

**A** 現在、休日のみならず平日も多くの利用者で賑わっている状況。毎月と比較で各月とも前年を上回る収入で、急な用途変更は考えていない。自分が町長になったところ

に多目的広場に戻してほしいという町民の声も半分くらいあった。多目的に戻す検討はしていくつもり。湯河原町と協議して湯河原のパークゴルフ場を共同利用できるように考えているところ。

**Q** 景観を利用し、半年ごとに新しい試みをやっているワクワクドキドキする空間として、民間の事業体に貸し出すことはできないのか？

**A** 可能性はある。他に「二地域居住者などの交流人口について」の質問をしました。



一般質問



**黒岩 範子**  
議員

国民健康保険税を引き下げるために減免制度の充実と一般会計からの法定外繰り入れを

**真鶴町の国民健康保険**  
の加入者は23年度では、約二世帯に一世帯の割合で加入している。国保の税率は変わっていないが年金は減り、物価もじわじわ上がってきている中で、国保税が高すぎて払えない町民も多々いる。根本原因は国の支出金が削減されているためだが、こんな時だからこそ町民のくらしと健康を守る自治体の責務として国保税を引き下げられるために減免制度の充実と一般会計からの法定外繰り入れをすべきではないか？

① 町民の所得と負担率について

② 国保税の減免制度のうち、申請減免の充実について

③ 短期保険証・差し押さえの実態について  
④ 一般会計からの法定外繰入について  
⑤ 国民健康保険運営主体の都道府県移行化についての見解

**A** ① 国民健康保険者の基準総所得は県内33市町村のうち18番目、負担率は14番目となっている。

② 申請減免の充実にについては取扱要領にもとづき、減免を実施している。「申請減免」については現在、収監された方が申請している。

「申請減免」には震災などの災害低所得者・所得減少（リストラ）・疾病・収監など世帯が適用されるので、該当の方は申請を。

③ 短期保険証について  
は「短期有効期限付被保険者証交付基準」を定め、有効期限1か月3か月、6か月の3種類の短期証を交付している。

④ 一般会計からの法定外繰入は国保以外の被保険者との税の負担の公平性を考慮し、総合的に検討しなければならない。平成12年から国保税を上げていないので国保財政は医療費の推移もあり財源不足。国保税を見直して財源を確保してから一般会計からの繰入を検討したい。

**Q** 神奈川県下33自治体の中で一般会計から繰入を行っていないのは当町を入れて3自治体のみ。200万円未満の所得者が国保加入者の約7割を占めている現状では、国保税の見直しの前に、一般会計のやりくりで、まず国保税の引き下げに努力を。

**Q** 介護保険料について  
「保険料の軽減をはかるため、65歳以上の保険料のきざみを現在の8段階からもつと増やすことはできないか」「要支援サービスにおける訪問介護・通所介護の市町村への移行についての対策について」の質問を行った。

## 一般質問



**岩本 克美**  
議員

『パソコン基本ソフト（2014年問題）への対策と今後の見通し』について伺う。

**Q** マイクロソフト社のパソコン基本ソフト『ウィンドウズXP』のサポート期限が来年4月で切れるという「2014年問題」で、わが町でもウィンドウズXPを使用しているはずだ。マイクロソフト社のサポート期間が終了すると、その後発生するウイルス感染やサイバー攻撃に對して無防備な状態となり、情報（データ）の流出や改ざんなどの被害を受ける可能性が高まるはず。町として、この問題に對してどのように取組み対処しようとしているか伺う。

**A** 現在、当町ではインターネットにアクセス可能な庁内LAN（ラウン）に接続する一般事務用のパソコンと、地方公共団体を相互にネットワーク接続するLGVAN（エル・ジー・ワン）に接続するパソコンのうち、60台がウィンドウズXPを使用している。サポート体制が切れると、ウイルス感染による、情報漏えい、情報破壊、情報改ざんが懸念されるため、町では、ウィンドウズXPパソコン、60台を来年度初めに更新する準備を進めている。

**Q** 年度初めに更新するということ回答を評価するが、他の部署、美術館・博物館、情報センターや町民センター、学校関係（小学校・中学校と幼稚園）なども使用していないか。

**Q** 機器の調達について、共同事業組合の共同調達で対応することが決まったのはいつ頃か

**A** 11月初旬に希望取りまとめの連絡があり、希望を出した。

**Q** わが町にパソコンが引き渡されるのはいつ頃か見通しを聞きたい。

**A** 4月年度当初に稼働できる段取りで進めている。60台リリースで賄える見込み。

**Q** 町は町民の基本情報を大量に保管し活用している中で、いわゆる個人情報プライバシーが他に漏れるようなことがあつてはならない。

**Q** わが町はきちんと対応できたということを宣言してはどうか。

**A** わが町が安全安心対策に取り組んでいることを、インターネット・広報等で発信する。

**A** LANに接続するパソコンは全部でXP60台のほかにはビスタ6台、セブン59台、計125台所有している。

**Q** 共同事業組合の共同調達で対応することが決まったのはいつ頃か

**A** 11月初旬に希望取りまとめの連絡があり、希望を出した。

**Q** わが町にパソコンが引き渡されるのはいつ頃か見通しを聞きたい。

**A** 4月年度当初に稼働できる段取りで進めている。60台リリースで賄える見込み。

**Q** 町は町民の基本情報を大量に保管し活用している中で、いわゆる個人情報プライバシーが他に漏れるようなことがあつてはならない。

**Q** わが町はきちんと対応できたということを宣言してはどうか。

**A** わが町が安全安心対策に取り組んでいることを、インターネット・広報等で発信する。



## 二見 和幸 議員

日本一綺麗な町へ！

「ふた付き、ごみステーション設置で綺麗な町づくりを」

**Q** 町で良く目につく、可燃ごみ収集日のカラスやネコによるごみの散らかし。すぐく荒らされている所は、道路の反対側までも生ごみが散乱している状況だ。町長は景気増進計画を立て観光の発展・集客をめざし各地でお願いに走り回っているが、お客様をお招きするのだから綺麗な町を目指すし、来町して頂いたお客様に気持ち良く真鶴の観光を楽しんでもらいたいと思う。景気増進計画の前に観光地にとって基本中の基本である綺麗な町づくりを進めていき、ごみの無い日本一綺

麗な町を目指し、お客様をおもてなししたらどうか。設置について町長の考えは？

**A** ふた付きのごみステーションはカラスやネコからごみの散乱を防ぐ最も有効な対策だと感じている。現在の可燃ごみ収集日は、月・水・金曜日だが、家にごみを置きたくないということから週末にごみを出される方や、別荘をお持ちの方が日曜日の夕方帰るときに出される方もいると思われる。そのようなことから週末に、ごみが置かれている状況があると考えられる。粗大ごみの大きなごみも、ステーションの横にスペースがあれば、そこに置いてもらう訳だが、ない場合はステーションの中に入れてもらわなければならない。年配の方などが苦労されるのではと思う。ごみステーションは道路には設置できない。設置場所の確保、また設置場所によっては現在の場所から遠くなるなど不便になったと

の声があがると考えられる。今後どのようにしていくのが良い方策なのか考えていきたい。町としても、綺麗な町づくりはおもてなしの基本なので、真鶴の地形に見合った、ごみ収集体制を目指していきたいと考える。

**Q** 町全体の可燃ごみ収集場所は、現在何か所あるのか？

**A** 約600箇所ある。

**Q** 自治会単位・隣組単位で補助する考えはあるか？

**A** 補助については、他の市町村の事例をみながら検討していきたい。

**Q** 検討中も動物によるゴミの散らかしは止まらない。町の車も毎日走っていることから、ゴミの散らかりに気付いたならば知らん顔せず職員も率先して片付けて欲しい。もちろん私もやる。職員に指示できるか？

**A** 行政がまずしなければならぬ事だ。私が率先して行い、職員にも指示する。約束する。

# 一般質問



## 板垣由美子 議員

給食は学校教育の一環！

「真鶴中学校での完全給食の在り方について」

**Q** 真鶴中学校では、現在ミルク給食が実施されているが主食と副食がそろった完全給食を実施して欲しいと言う声を度々聞く。県内町村の公立中学校における完全給食は9町村で実施、当町を含む5町が未実施だ。このうち当町以外の4町は検討中か検討委員会を設置という状況だ。真鶴中学校での完全給食の在り方についての考えは？

**A** 真鶴中学校での完全給食の在り方については、現在の状況は保護者から給食をと言う声はあるが、生徒からの希望は把握していない。学校からは弁当は親の愛情を伝える手段の一つで生徒指導にも良い影響があり、配食に時間がかからないといったメリットが挙げられている。今後の在り方としては、自校調理方式・デリバリー方式：さらに現在の弁当も視野に入れて研究・検討していく。保護者・子ども・学校それぞれの立場から教育的価値を見極め、財源確保等の課題も踏まえて当町に適した方法について模索していく。

らは弁当は親の愛情を伝える手段の一つで生徒指導にも良い影響があり、配食に時間がかからないといったメリットが挙げられている。今後の在り方としては、自校調理方式・デリバリー方式：さらに現在の弁当も視野に入れて研究・検討していく。

**Q** 学校給食法の改正で給食が学校教育の一環であるという意義が明確になった。教育的効果についての見解は？

**A** トータルな視点から検討していく必要がある。子育て環境の整備からは必要だと感じる。食育は給食、弁当に関わらず進めていかなければならない。学校全体の教育活動からはゆったり食事ができる雰囲気や大切

**Q** まなづる小学校の給食方式なども含めた、真鶴

中学校での完全給食実施について、検討会設置の考えは？

**A** 教育委員会の学校給食事業検討委員会平成26年度より、トータルな視点から検討を始める予定。

緊張しないで記入できます！

「有権者が投票しやすい環境づくりの推進について」

**Q** 期日前投票制度を利用して投票した町民から、請求書兼宣誓書を係員の見守る中で記入するのは緊張するし、時間がかかるといった意見がある。負担軽減のため、町のホームページなどから用紙をダウンロードして、落ち着いた環境で事前に記入し、持参できるようにしたら？

**A** 近場に予定されている選挙から導入する。パソコンを利用しない人には情報センターなどで入手できるようにしていく。



高橋 敦  
議員

また、現在までの進捗状況と公表予定は？

**A** 民間アドバイザー（経営・経理・観光の専門家）と町内関係団体（商工会、観光協会）

による政策企画会議に加え、プロジェクト事業提案を元に選考した公募町

より多くの町民の声を反映した計画づくりを！

「真鶴町景気倍増計画について」

**Q** 政策の実現には、幅広い層から多くの意見、要望、アイデア、ノウハウを求め、その中から有用なものを選択し、さらに人脈を利用・活用することが重要である。

政策企画会議、活性化プロジェクトのメンバーの内、町職員が約4分の3を占めており、オール真鶴というには寂しい。

町民、町事業者、アドバイザーに加え、議会の持つアイデアやノウハウ、人脈を検討段階から取り込んでいくため、さらなる参加を募る予定は？

活性化プロジェクトチームの立ち上げや、各チームにアドバイザー的なポジションで参画してもら

うなどにより、相互に緊張関係を保ちながら、より良いものを作り上げていきたい。

**Q** 平成26年度予算に向けた事業仕分けの検討状況と、進捗管理を行う委員会への町民参加の状況は？

**A** 平成24年度の事業仕分けでは、全事業のうち、240件を検証対象項目とし、うち76件を仕分け対象と要検討項目とした。

これらの進捗管理は、町民から選出された委員で構成する真鶴町行政改革推進委員会で行い、併せて、平成26年度予算編成段階で、仕分け結果や要検討項目及び新規事業

について、政策企画会議メンバーによる検証を行い、その結果を26年度予算に反映していく。

議会は、議会ならではのノウハウを生かした

## 一般質問



田中 俊一  
議員

真鶴町の活性化という観点から町のステータスシンボルである真鶴半島部の振興対策について

**Q** 2020年東京五輪・パラリンピック開催決定を受け、観光客の誘致として海外の人々も含めて、観光客の趣向の変化に対応するために真鶴の独自の文化や歴史を通して、外から来た人と交流することに、地域の活力を倍増していくのではないかと。現、イベント以外の考えはあるか？

**A** 真鶴の豊かな自然や産業を活かした体験観光を実現させていく。磯遊びやお林森林浴といった自然体験、漁師町の特徴を活かした仕事体験

等、真鶴特有の資源を結集し、その魅力を体感する体験観光の確立を目指す。そのためには、海外からの観光客誘致の前に、国内のお客様にご満足いただけるオール真鶴おもてなし体制の構築が必要だと考える。町民が一体となっておもてなしする環境づくりを目指す。

いくこととしたい。この政策方針に共感した企業からの支援・連携を調達していく。お林エリアは、「自然体験や自然との融合が贅沢」と感じる観光

エリアとして活性化を図っていく。将来的には一般車両の乗り入れ禁止も視野に入れ皆で議論し、「自然遺産のお林」を鮮明に打ち出していく。

**Q** 半島の豊かな自然環境のもと、将来への展望を開くための半島の保全と活用を具体化していくプロセスについて？

**A** 半島の振興対策については、景気倍増計画の核に位置付け、推進していく。そのために、ここで景気倍増計画の実現戦略として、戦略的土地利用方針を掲げたい。町の玄関口である真鶴駅から真鶴港周辺のエリアを活性化ゾーン、半島先端のお林については、生物多様性を尊重し、徹底した自然保護ゾーンとして位置付け、景気倍増計画の戦略的土地利用方針として行政運営を図って

また、地場産業との連携による新しい産業の構築を目指す。その舞台が、真鶴港エリアとなる。戦略的土地利用方針とは、漠然とした半島の全体利用ではなく、活性化と保全を図るエリアとして設定し、その特性を鮮明に打ち出すことで、その方針の合致する事業、補助金、企業を集中投下するという戦略である。

皆様と共に、真鶴町の意思を全国に示し、真鶴半島の振興を図っていき

たい。

# トピックス



1月12日 真鶴半島駅伝  
町内外からたくさんの選手が  
半島を駆け抜けました。

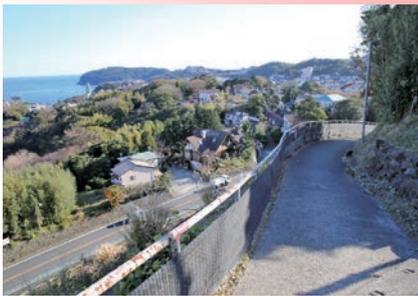


1月11日 どんと焼き  
岩海岸で正月飾りなどを  
お焚き上げしました。



1月13日 成人式  
今年、男性38名、女性32名の計70名  
が成人の日を迎えました。

## 次号は私の好きな場所 「路地、小道、背戸道」をテーマに募集します



踏切上の小道

## 全員協議会

平成25年11月27日(水)、議場において、全議員、町長、教育長、町職員等が出席し、全員協議会が開催されました。

全員協議会は、会議規則第118条第1項の規定により「議案の審査又は議会の運営に関する協議又は調整を行うための場」で、今回は、第7回定例会に提案予定の案件についての事前説明を中心として協議を行いました。町民の皆様には傍聴いただきました。そのため、今回はじめて議場で開催したもので、これから開かれた議会を目指し様々な改革に取り組んでまいります。

## 編集後記

真鶴半島駅伝に東京の友人たちと参加しました。後日、友人のひとりから便りが届きました。

真鶴が、熱海より手前にあるにもかかわらず、半島になっているから、ひっそりしていて騒々しくなく、渋滞もなく、ゆっくり過ごせるいい所だと思いました。海辺を歩きましたが、本当にゆったりとしてリフレッシュ出来ました。

僕も東京から、この町にやってきた一人です。瀬戸道を歩いて、豊かな気持ちになります。物凄いスピードで経済成長を支えてきた東京は、車での移動を考えた時速50キロの町づくりが行われました。真鶴は、車も通れない道がたくさんあって今も歩いて回れる小さな町です。人間の歩く速さは時速4キロ。この時速4キロの速さからの真鶴の眺めは、ひよっとすると他のところには無い美しさかもしれませんね。

副委員長 光吉 孝浩

### 議会広報特別委員会

- 委員長 村田 知章
- 副委員長 光吉 孝浩
- 委員 田中 俊一
- 委員 黒岩 範子
- 委員 高橋 敦
- 委員 岩本 克美